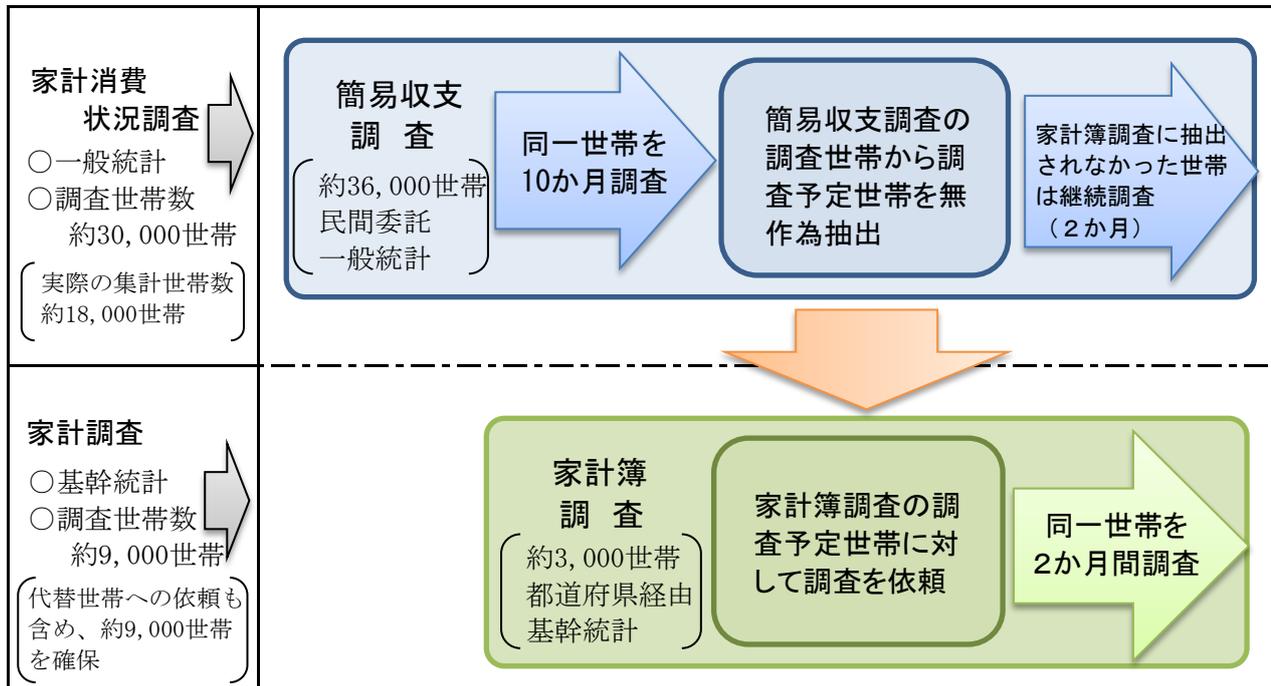


家計調査及び家計消費状況調査の見直し案の概要

○見直し案のイメージ



○見直し案のポイント

概 要

現行の家計調査を家計簿調査、家計消費状況調査を簡易収支調査とし、①記入者の負担軽減、②地方公共団体の負担軽減、③結果精度の改善等を図る。

現行調査との主な相違点

○簡易収支調査（現家計消費状況調査）

- ・家計収支のより正確な把握方法の導入
- ・ICTに関する調査項目の廃止
- ・調査世帯数の拡充

○家計簿調査（現家計調査）

- ・調査世帯数は、現在の約9,000世帯から約3,000世帯に削減
- ・調査予定世帯は、簡易収支調査の調査世帯から無作為抽出
- ・家計簿の記入期間を2カ月に短縮
- ・高額消費に関する調査票を導入
- ・単身世帯の調査を廃止
- ・重量記入の廃止
- ・月次結果の公表を取り止め、四半期及び年単位の結果のみ公表